

## 地域交流会 「こみゆに亭カフェ」

～シャンソン歌手 *Mihoko* とともに～

地域交流会「こみゆに亭カフェ」ってどんなイベント？

そんな戸惑いの雰囲気が出たMihokoさんの軽妙なトークが始まるとあっという間にリラックスモードに変わりました。

ピアノはMihokoさんのお嬢さん。東京芸大作曲科ご出身の方で、生き生きとした演奏を聞かせてくれます。



「シャンソンを習っています」  
「シャンソンを生で聴くのは初めて」  
「吉祥寺のベル・エポックに聴きに行ったことがあります」など参加者の皆さんとも楽しく交流しながら、まず、アダモやピアフなどシャンソンを4曲。

「愛の讃歌」はMihokoさんのオリジナルの歌詞です。「ラストダンスを私に」はみんなの手拍子。

雰囲気がすっかり和らいだところで、Mihokoさんのリードで参加の皆さんが二つに分かれて「ドレミの歌」をコーラス。ほんのわずかな練習で素敵なハーモニーになりました。





次は昭和歌謡のイントロ当てクイズ。麻里さんのピアノが奏でるイントロはそれだけで楽しめる演奏です。

ちびまる子ちゃんのテーマソングから、沢田研二、尾崎紀世彦のヒット曲、伊勢佐木町ブルースではため息の部分を全員で声を出して、笑い声が溢れました。

即興作曲コーナーでは、参加者が弾いた4つの音をモチーフに、お嬢さんの麻里さんが美しい曲をその場で作曲し、参加者を魅了しました。4音をひいた男性がその曲を「煌びやか」と命名。皆さん、びっくりのコーナーでした。



休憩の後、照明を少し落として、赤いドレスに着替えた Mihoko さんはシャンソン「ジュテーム」、フォルクローレから「あなたの影になりたい」、オリジナル曲「私は踊り子」、カンツォーネ「カルーツ」などを情緒たっぷりに歌い上げ、会場を魅了しました。



そして、見事なトークを交えた「舟唄」とミュージカルナンバー「キャバレー」。最後は全員で「今日の日はさようなら」を歌い、素晴らしい時間が終わりました。シャンソン、タンゴ、カンツォーネ、昭和歌謡、ミュージカル曲、いろいろなジャンルの曲の数々。皆さん、知らない同士も感想を伝え合って、素敵な地域交流の場でした。ご参加の皆様、ご出演の Mihoko さん、岩間麻里さん、ありがとうございました。

